

償却資産申告書の記載例

令和〇年度  
償却資産申告書(償却資産課税台帳)

受付

令和〇年〇月〇〇日

竹原市長 殿

※所有者コード

第二十六号様式(提出用)

1 住所 (ふりがな) 〔又は納税通知書送付先〕	〒〇〇〇 - 〇〇〇〇 竹原市竹原町〇〇〇〇番地 (電話〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇)	3 個人番号又は法人番号 0123456789123	8 短縮耐用年数の承認 有・無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	2 氏名 (ふりがな) 法人にあつてはその名称及び代表者の氏名	竹原商事株式会社 代表取締役 竹原 一郎 (屋号)	4 事業種目(資本等の金額) 土木業 (百万円) 10	9 増加償却の届出 有・無
5 事業開始年月 平成 5 年 10 月		6 この申告に回答する者の係及び氏名 経理係 竹原 太郎 (電話 〇〇〇〇 - 〇〇 - 〇〇〇〇)	10 非課税該当資産 有・無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	7 税理士等の氏名 広島 次郎 (電話 〇〇〇〇 - 〇〇 - 〇〇〇〇)	11 課税標準の特例 特別償却又は圧縮記載 帳	12 特別償却又は圧縮記載 帳	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		13 税務会計上の償却方法 定率法 定額法	14 青色申告	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

各項目について、該当する方を〇で囲んでください。

(イ)前年前に取得した資産の取得価額の合計額を種類別に記載してください。  
(ロ)前年中に減少した資産の取得価額の合計額を種類別に記載してください。  
(ハ)前年中に取得した資産の取得価額の合計額を種類別に記載してください。  
(ニ) (イ)-(ロ)+(ハ)によって算出した取得価額の合計額を種類別に記載してください。

借用資産の有無について〇で囲み、ある場合は名称等を記入してください。

資産の種類	取得価額			計 ((イ)-(ロ)+(ハ)) (ニ)
	前年前に取得したもの (イ)	前年中に減少したもの (ロ)	前年中に取得したもの (ハ)	
1 構築物				
2 機械及び装置	2,000,000	1,194,820	3,673,000	4,478,180
3 船舶				
4 航空機				
5 車両及び運搬具				
6 工具、器具及び備品	150,000		330,500	480,500
合計	2,150,000	1,194,820	4,003,500	4,958,680

15 市町村内における事業所等 資産の所在地	① 竹原町〇〇番地 ② ③
16 借用資産 (有・無)	貸主の名称等 竹原市中央〇番〇号 リース竹原 株式会社
17 事業所家屋の所有区分	自己所有・借家
18 備考(添付書類等)	

課税の特例・所有者名称等の異動、その他参考となる事項があれば記入をお願いします。

資産の種類	評価額 (ホ)	決定価格 (ハ)	課税標準額 (ト)
1 構築物			
2 機械及び装置			
3 船舶			
4 航空機			
5 車両及び運搬具			
6 工具、器具及び備品			
7 合計			

記載の必要はありません。ただし、電算処理により全資産申告を行う場合は記載してください。

① 増加資産 1 枚  
② 減少資産 1 枚  
③ 前年中増減なし  
④ 該当資産なし  
⑤ 転出・廃業・解散等  
平成31年〇月〇日 社名変更  
(旧社名 〇×商事 有限会社)  
年 月 日  
(決算期) 3 月

「電算処理電算処理の場合は必ず記入して下さい。」